

気候情報

2009年12月の日本の天候

○中甸後半から下旬ははじめにかけて日本海側で大雪

○寒暖の変動が大きかった

12月の天気概況

12月前半はほぼ全国的に気温が高く、日本付近を通過した低気圧の影響で太平洋側を中心に大雨となったが、中甸後半から下旬ははじめにかけては強い寒気が南下したため全国的に気温が低く、日本海側の各地で大雪となるなど、寒暖の変動が大きかった。

上甸から中甸前半は数日の周期で天気が変わった。中甸前半には本州付近を進んだ低気圧の影響で、全国的に雨となり太平洋側では大雨となったところがあった。

中甸後半から下旬ははじめにかけては、強い寒気が日本付近に南下し冬型の気圧配置となった。このため日本海側では雪が降り続き、東北日本海側と東日本日本海側では、山沿いで1メートルを超える積雪となったのをはじめ平野部でもまとまった積雪を観測するなど、12月としては2005年以来4年ぶりの大雪となり、月降雪量も東日本日本海側では4年ぶりに多くなった。一方、太平洋側では晴れたものの、気温は平年を大幅に下回った。なお、下旬には極端な低温はほぼ解消した。

上甸：天気は数日の周期で変わった。3日と5日には日本海と本州の南海上に低気圧が通り、ほぼ全国的に天気が崩れた。6日から7日にかけては一時的に冬型の気圧配置になったものの寒気の流入は弱かった。

中甸：11日から12日にかけては本州の南岸と日本海を進んだ低気圧の影響により全国的に曇りや雨となり、東・西日本太平洋側の一部では大雨となった。13日からは北日本を中心に寒気が流れ込み、北日本日本海側では雪となった。16日からは寒気が東・西日本へも流れ込み、下旬ははじめにかけて冬型の気圧配置が続いた。このため、日本海側では降雪が続き各地で12月の平年を上回る積雪となった。特に東北日本海側と東日本日本海側では、山沿いで1メートルを超える積雪となったのをはじめ平野部でもまとまった積雪を観測するなど、12月としては2005年以来4年ぶりの大雪となった。一方、太平洋側ではおおむね晴れの天気が続いたが気温は平年を大幅に下回った。

下旬：はじめは強い冬型の気圧配置と上空の寒気の影響で日本海側では雪となったが、22日には上空の寒気も次第に弱まった。その後は、天気は数日の周期で変わったが、北海道太平洋側では低気圧の通過に伴い記録的な大雪となった。また月末には寒気の南下とともに全国的に強い冬型の気圧配置となった。

12月の気候統計

月平均気温：東日本では高く、北日本、西日本および沖縄・奄美では平年並だった。なお、寒暖の変動が大きかった。

月降水量：北日本から東日本にかけての太平洋側でかなり多く、東日本日本海側で多かった。北日本から東日本にかけての太平洋側では平年の170%を上回ったところが多かった。北日本日本海側、西日本および沖縄・奄美では平年並だった。

月間日照時間：北海道オホーツク海側でかなり多く、北海道日本海側で多かった。一方、東北太平洋側ではかなり少なく、東北日本海側と西日本日本海側では少なかった。北海道太平洋側、東日本、西日本太平洋側および沖縄・奄美では平年並だった。

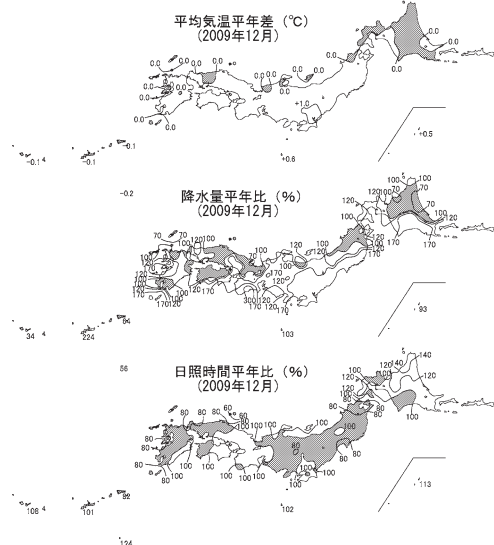
降雪・積雪：降雪の深さ月合計は、北海道太平洋側でかなり多く、東日本日本海側で多かった。一方、北日本日本海側では少なく、西日本日本海側では平年並だった。月最深積雪は、北海道太平洋側と東北地方から東日本にかけての日本海側で平年を上回るところが多かった。

(気象庁観測部統計室)

12月の記録（1位更新のみ）

- ・月降水量多い方から (mm)
広尾 173.0 牛深 169.0
- ・降雪の深さ月合計多い方から (cm)
広尾 123
- ・月最深積雪大きい方から (cm)
広尾 73

2009年12月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い (少ない) 地域を示す。